

(2023年12月～2024年2月製作完了分)

点字図書受入れ目録 15タイトル

自館製作の点訳は「西宮点訳グループ」・「点訳グループあやめ」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	冊数
点73-1	小説 (2023)	うたかたモザイク	いちほ 穂 ミチ	3
甘い出来事も、苦い経験も。いろんな味が楽しめるから、人生は美味しい…。「人魚」「レモン目」「ツーバイツー」「神さまはそない優しない」など、スパイスをきかせた13の物語を収録する。				
点73-2	小説 (2023)	なにわも 浪華燃ゆ	いとう じゅん 伊東 潤	5
陽明学 <small>ようめいがく</small> を究めた学者でもあり、大坂町奉行の敏腕 <small>おおさかまちぶぎょう</small> と力 <small>よりき</small> でもあった大塩平八郎 <small>おおしおへいはちろう</small> は、家族、門人 <small>もんじん</small> たちをも巻き込んで、命を懸けた世直しに挑む。幕末前夜、大坂の町を焦土と化した乱のすべてを描く。				
点73-3	小説 (2023)	いきつ戻りつ死ぬまで思案中 <small>しあんちゆう</small>	かきや みう 垣谷 美雨	4
囚 <small>こ</small> づきあい、老後のあり方、家族のこと、そして自分のこと…。「よくぞ言ってくれた!」と思わず膝を打つ、ベストセラー作家が自分をさらけ出したエッセイ集。				
点73-4	小説 (2023)	ぶんごう しゃちょう 文豪、社長になる	かどい よしのぶ 門井 慶喜	5
1923年、大ベストセラー作家・菊池寛 <small>きくちかん</small> によって、文春は産声 <small>ぶんしゅん</small> をあげたが…。激動の時代に翻弄 <small>ほんじゆ</small> されながらも、文豪、社長として、波乱に満ちた生涯を送った男の、史実に基づいた物語。				
点73-5	小説 (2023)	はら す ゆうしゃ 腹を空かせた勇者ども	かねはら 金原 ひとみ	4
私ら人生で一番エネルギー要る時期なのに。ハードモードな日常ちよっとえぐすぎん？ 陽キャ中学生レナ <small>レナ</small> が、「公然不倫」中の母と共に未来をひらく、知恵と勇気の爽快青春長篇。				
点73-6	小説 (2023)	しよちょう 署長シンドローム	こんの びん 今野 敏	4
竜崎伸也 <small>りゅうざきしんや</small> がおおもり署 <small>おおもりしよ</small> を去り、新署長として藍本小百合 <small>あいもとさゆり</small> がやってきた。ある日大森署に、羽田沖 <small>はねだおき</small> の海上で武器と麻薬の密輸取引が行われるとの報が！ 国際的な難事件に、警視庁や厚労省なども乗り出し…。				

点73-7	小説 (2023)	はな 華ざかりの三重奏 ^{てらつえつと}	さかい 坂井 希久子 ^{きくこ}	4
<p>キャリアウーマンだった可^か南子^{なんこ}は、もうすぐ60歳。独身のまま、やりがいであった仕事も定年退職が迫る。同窓会で、中学時代に親しかった芳美^{よしみ}と再会し、「一緒に暮らさないか」と誘われ…。</p>				
点73-8	小説 (2023)	デモクラシー	どうば 堂場 瞬一 ^{しゅんいち}	6
<p>202×年、20歳以上の国民から政治家がランダムに選出され、総理大臣は直接選挙で選ばれる。議員の不正を監視する機関の危うさ、権限が大きくなった官僚、そして現首相と旧体制に固執する現都知事らの政権争いの行方は。</p>				
点73-9	エッセイ (2023)	すいせいこうさてん 彗星交叉点	ほむら 穂村 弘 ^{ひろし}	2
<p>街角でふと耳にした会話やお店の看板、家族の寝言など、たまたま出会った言葉が詩に見えてくることがある。そんな「偶然性による結果的ポエム」について考える。</p>				
点73-10	小説 (2023)	かんもく おんな 完黙の女	まえかわ 前川 裕 ^{ゆたか}	5
<p>小4男児が自宅を出たまま姿を消した。時効目前の15年後、子供の骨を持ち運んでいた女が殺人容疑で逮捕される。女は^{かれつ}苛烈な取り調べにも沈黙を貫き、判決は無罪。やがて別の失踪事件との間に奇妙な共通点が浮上し…。</p>				
点73-11	小説 (2023)	ぶんつうしょうせつ 文通小説	ましま 真島 めいり	2
<p>始まるのは、ほんどうの^{ぶんつう}〈文通〉。貴緒^{きお}が遠くへ行ってしまうことの現実感が、その単語ひとつにぎゅっと詰まっていた…。ちゅうでん児童文学賞大賞、児童文芸新人賞を受賞した^{ましま}真島めいりによる青春小説。</p>				
点73-12	小説 (2023)	あなたはここにいないとも	まちだ 町田 そのこ	4
<p>^{みすず}美鈴は不倫相手から栗の渋皮煮を作ってほしいと頼まれるが、そもそも食べたいと言っているのは彼の妻で…。「くろい穴」など、もつれた心を解きほぐす5つのやさしい物語を収録する。</p>				

点73-13	小説 (2023)	すみ 墨のゆらめき	みうら 三浦 しをん	4
<p>都内の老舗ホテルに勤務する続力<small>つづきちから</small>は、招待状の宛名書きを依頼しに書家の遠田<small>とおだかおる</small>薫を訪ね、なぜか副業の手紙の代筆を手伝うことに。あらゆる筆跡を自在に書き分ける遠田と接するうち、続は文字が放つきらめきに魅せられていく。</p>				

点73-14	小説 (2023)	まいまいつぶろ	むらき らん 村木 嵐	5
<p>口がまわらず、歩いた後には尿を引きずった跡が残るため、「まいまいつぶろ」と呼ばれ<small>さげす</small>蔑まれた第9代将軍・徳川<small>とくがわいえしげ</small>家重。麻痺を抱え<small>はいちやく</small>廃嫡を噂されていた若君と、彼の言葉を解する後ろ盾のない小姓、2人の孤独な闘いを描く。</p>				

点73-15	小説 (2023)	ロールキャベツ	もりさわ あきお 森沢 明夫	5
<p>自分の人生の脚本は、自分の手で書き換える！ 夢も特技もない大学2年生の夏川<small>なつかわまこと</small>誠を変えたのは、椅子に座るだけの野遊<small>のあそ</small>び「チェアリング」の仲間たちだった…。青春起業小説。</p>				

点字雑誌	<ul style="list-style-type: none"> *天声人語(朝日新聞より) 全1巻 *女の気持ち・男の気持ち(毎日新聞コラムより) 全1巻 *日経コラム抜粋版 全1巻 *人生案内(読売新聞より) 全1巻 *ひととき(朝日新聞コラムより) 全1巻 ★購入 点字ジャーナル ★購入 生活情報誌ライト&ライフ
寄贈点字本・雑誌	<ul style="list-style-type: none"> *ふれあいらしんばん(発行:内閣府政府広報室) *日盲社協通信(発行:日本盲人社会福祉施設協議会) *電子レンジでミートクッキング(発行:すこやか食生活協会) *コロナ禍での視覚障害者(発行:桜雲会)

録音(カセット)図書受入れ目録 1タイトル
 自館製作の音訳は「テープライブラリーにしのみや」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	巻数
カ73-1	小説 (2023)	<small>てんさい</small> 天災ものがたり	<small>かどい よしのぶ</small> 門井 慶喜	7
我々の祖先は、巨大な自然災害にいかに立ち向かい、生き抜いてきたのか…。武田信玄 <small>たけだしんげん</small> が、日本近世の防災上の出発点となった堤防を造るまでを描く「一国の国主」 <small>いっこく こくしゅ</small> など全6篇を収録する。				

広報誌	*令和5年度市営住宅だより 冬号
-----	------------------

録音(デイズ)図書受入れ目録 24タイトル
 自館製作の音訳・編集は「テープライブラリーにしのみや」の皆様です

番号	分類・発行年	書名	著者名	時間
デ73-1	小説 (2023)	どうしようもなく辛 ^{つら} かったよ	あさぎり さく 朝霧 咲	5:32
<p>「特別になりたい」と願う中学生の若菜^{わか菜}は、バレー部での練習に明け暮れていた。しかし3年生になると、顧問の異動によってチームは大きく動揺してしまう。チームの落ち着きを取り戻すため、若菜は「ある提案」をするのだが…。</p>				
デ73-2	小説 (2023)	おばちゃんに言うてみ?	いずみ 泉 ゆたか	6:59
<p>文句ばっか言うとならあかんよ…。大阪のおばちゃん・とし子^こが、人生の袋小路^{ふくろこうじ}で立ち往生する人々の背中をドンと押して勇気づける、抱腹絶倒^{ほうふくぜつとう}&ちょっと涙のヒューマン・ドラマ。</p>				
デ73-3	小説 (2023)	ぎんなみ商店街 ^{しょうてんがい} の事件簿 ^{じけんぼ} BROTHER編	いのうえ まぎ 井上 真偽	7:19
<p>四人兄弟が、愛する地元のぎんなみ商店街で起きた不穏な事件に迫る。同じ事件、同じ手がかりを見ているのに、三姉妹とはまったく違う推理の展開に…? パラレルミステリ。SISTER編も同時刊行。</p>				
デ73-4	小説 (2023)	ぎんなみ商店街 ^{しょうてんがい} の事件簿 ^{じけんぼ} SISTER編	いのうえ まぎ 井上 真偽	7:15
<p>焼き鳥店「串真佐^{くしまさ}」の三姉妹が、愛する地元のぎんなみ商店街で起きた不穏な事件に迫る。同じ事件、同じ手がかりを見ているのに、四兄弟とはまったく違う推理の展開に…? パラレルミステリ。BROTHER編も同時刊行。</p>				
デ73-5	小説 (2023)	しもがもり ^{しもがもり} ょうてい ^{ょうてい} あじ ^{あじ} ちやう ^{ちやう} 下鴨料亭味くらべ帖 2 さかな おうさま 魚の王様	かしわい ひさし 柏井 壽	5:57
<p>二人の料理人による、板長の座をかけた料理対決が定着し、評判を得た京都の老舗料亭「糺^{ただす}ノ森山^{もりさん}荘^{そう}」。ところが、その料理人の一人に、他店から引き抜きの話が。女将^{あけみ}の明美は…。</p>				
デ73-6	小説 (2023)	てんさい 天災ものがたり	かどい よしのぶ 門井 慶喜	9:15
<p>我々の祖先は、巨大な自然災害にいかに立ち向かい、生き抜いてきたのか…。武田信玄^{たけだしんげん}が、日本近世の防災上の出発点となった堤防を造るまでを描く「一^{いっ}国^{こく}の国^{こく}主^{しゅ}」など全6篇を収録する。</p>				

デ73-7	小説 (2023)	なれのはて	かとう 加藤 シゲアキ	14:25
<p>テレビ局員・守谷京斗^{もりやきょうと}は、吾妻李久美^{あづまりくみ}から祖母の遺品である絵を使って「たった一枚の展覧会」を企画したいと相談され、絵を描いた謎の画家の正体を探り始める。すると、秋田^{あきた}のある一族が暗い水の中に沈めた業^{ごう}に繋がりに…。</p>				
デ73-8	小説 (2023)	まわる 間の悪いスフレ	こんどう ふみえ 近藤 史恵	3:46
<p>コロナ禍で厳しい状況の飲食店業界、〈ビストロ・パ・マル〉でもテイクアウトメニューを考えたり、料理教室を始めたり。そんななかで、名探偵シェフのまわりには謎がいっぱい。全7編を収録。</p>				
デ73-9	小説 (2023)	台北 アセット こうあんがいじ くらしまけいぶほ 公安外事・倉島警部補	こんの びん 今野 敏	7:49
<p>台湾警察^{たいわんけいさつ}に招かれた倉島^{くらしま}は、サイバー攻撃を受けた現地の日本企業に捜査を要請される。だが殺人事件が起き、日本人役員に疑いの目が向けられて…。ふたつの国の間にある真実とは。</p>				
デ73-10	小説 (2023)	カモナマイハウス	しげまつ きよし 重松 清	12:12
<p>不動産会社で空き家メンテナンス業に携わる孝夫^{たかお}。ある日、妻・美沙^{みさ}の実家が、気鋭^{きえい}の空間リノベーターによる「空き家再生策」の標的になり…。空き家をめぐる、家族の絆の物語。</p>				
デ73-11	小説 (2023)	からさんの家 伽羅 ^{いえ きやら} の章 ^{しょう}	しょうじ ゆきや 小路 幸也	5:26
<p>詩人、小説家、作詞家、画家などをしてきた女性・伽羅^{きやら}に義理の孫娘が出来て…。自分に正直に生きてきた70代の女性と、彼女の家に下宿する個性的な面々との生活を描く家族小説。</p>				
デ73-12	小説 (2023)	からさんの家 まひろ ^{いえ まひろ} の章 ^{しょう}	しょうじ ゆきや 小路 幸也	6:26
<p>高校を卒業したばかりのまひろは、血の繋がらない祖母と暮らすことになった！自分に正直に生きてきた70代の女性と、彼女の家に下宿する個性的な面々との生活を描く家族小説。</p>				
デ73-13	小説 (2023)	えど あさくさ はる とりもの 江戸は浅草 5 春の捕物	ちの みさき 知野 みさき	9:50
<p>矢師^{やし}の真一郎^{しんいちろう}は多香^{たか}との関係に悩んでいた。決死^{けつし}の覚悟^{かくご}の妻^{つま}問い^とは宙ぶらりん^{ちゅうぶらりん}。ヒモ^{ひも}で笛師^{ふえし}の大介^{だいすけ}、胡弓^{こきゅう}弾^ひきの鈴^{すず}らとも関係が深まったが、先行きの見えぬ日々。そんななか、菓子屋^{かしや}の娘^{むすめ}からなぜか矢^やの注文^{ちゆうもん}があり…。</p>				

デ73-14	小説 (2023)	カーテンコール	つっい やすたか 筒井 康隆	4:16
<p>「時をかける少女」「パプリカ」などの主人公たちが病床の作者を訪れる「プレイバック」ほか、痙攣的笑い、甘美な郷愁、胸熱きわまる感涙等を齎す芳醇無比な掌篇小说25篇。</p>				
デ73-15	小説 (2023)	ゆめわ ふね 夢分けの船	つはら やすみ 津原 泰水	10:20
<p>映画音楽の勉強のため、専門学校に通うことになった修文は、風月荘704号室にまつわる噂を聞く。かつて「音楽」という「夢」を追い続け、自ら命を絶った3代前の住人の幽霊の話をも…。</p>				
デ73-16	小説 (2023)	たか まど 鷹の惑い	どうぼ しゅんいち 堂場 瞬一	10:06
<p>海外逃亡していたはずの極左の最高幹部が突然仙台に現れた。身柄の移送を担当した公安一課の海老沢は、痛恨の失敗を犯す。一方、捜査一課の高峰は殺害された元代議士秘書の身辺を探る。その経歴には6年間の不自然な空白が…。</p>				
デ73-17	小説 (2023)	ロング・ロード 探偵・須賀大河	どうぼ しゅんいち 堂場 瞬一	11:20
<p>私立探偵・須賀大河は、巨大IT企業の社長になった旧友から会社を誹謗中傷する怪文書の調査を依頼される。中傷はやがて脅迫へ。犯人に罠を仕掛ける大河だが、行く手には思わぬ悲劇が…。</p>				
デ73-18	エッセイ (2023)	うた やまにわ しぜんし 歌わないキビタキ 山庭の自然誌	なしき かほ 梨木 香歩	7:56
<p>歌わないキビタキは別人(鳥)のようだ。繁殖期の頃の朗らかな彼ではなく、何か重い鬱屈を胸に抱えているような…。山小屋暮らしや動植物との出会いなどを綴ったエッセイ集。</p>				
デ73-19	小説 (2023)	ヨルノヒカリ	はたの ともみ 畑野 智美	9:29
<p>手芸用品店を営む木綿子は、35歳になった今も恋人がいたことがない。住み込みで働くことになった28歳の光は、“普通の生活”をしたことがない。不器用な大人たちの“ままならなさ”を救う、ちいさな勇気と希望の物語。</p>				
デ73-20	エッセイ (2023)	がめんほうだん 顔面放談	ひめの 姫野 カオルコ	7:07
<p>独自の小説世界を織り成しつつけるひめの姫野カオルコは稀代の「顔マニア」でもあった！ 姫野カオルコの並々ならぬ観察眼が炸裂する捧腹絶倒のマニアック・エッセイ。</p>				

デ73-21	小説 (2023)	ひやくねん あい 百年の藍	ますやま みのる 増山 実	13:26
<p>たいしやうき 大正期。初めて目にしたジーンズに魅せられ、国産化を夢見る男がいた。彼は情熱を傾けるが、いくつもの壁が立ちはだかり…。震災や戦争など時代に翻弄されながら、「想い」を繋いで生きた人々の百年の物語。</p>				

デ73-22	小説 (2023)	あえてよかった	むらかみ 村上 しいこ	7:10
<p>妻に突然先立たれ、自暴自棄になった大地。愉しみは、三日月の夜に現れる妻の気配と会話すること。そこで亡き妻から、彼女の願いだった「子どもを育てる」の実践を頼まれてしまう。しづしづ学童保育所のバイトを始め…。</p>				

デ73-23	小説 (2023)	きやうとてらまちさんじやう 京都寺町三条のホームズ 20 みなら みらいてんぼう 見習たちの未来展望	もちづき まい 望月 麻衣	6:26
<p>夏休み、京都国立博物館でインターンとして働くことになった葵のところに、小松探偵事務所から忽然と姿を消した円生の絵が香港に飾られているとの報せが。清貴と小松は急ぎ香港に飛ぶが、そこで待っていたのは…。</p>				

デ73-24	小説 (2023)	のぶなが いしよ 信長の遺書 マキアヴェリ チェーザレ・ボルジア おとどめがき 御留書	やまもと おとや 山本 音也	12:47
<p>イタリアのある家の蔵から古い紙束が見つかった。それは信長の近習の書記によって密かに編まれた「信長公記」の完本正篇だった…。天下を統べるはずだった男の果てなき好奇の思いを極大なスケールで描く、斬新吃驚の歴史長編。</p>				

寄贈広報誌ほか	<p>*にってんデイジーマガジン(月刊)</p> <p>内容:「ブックウェーブ」、「月刊文藝春秋」、「ホームライフ」、「医学研究」等</p> <p>*京まる(月刊) 内容:「はなのぼう」「本屋さんの新刊書」「声の京都」</p> <p>*政府広報誌: 明日への声、厚生</p> <p>*兵庫県議会だより 声の広報(発行:兵庫県視覚障害者福祉協会)</p> <p>*令和5年度市営住宅だより 冬号</p>
---------	--